

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

| | |
|---------------|---------------------------------|
| 事業名 | 木流笠地蔵公園環境整備事業 |
| 事業主体 (連絡先) | アルプスの会 白馬村大字北城480-6 会長 池田 光夫 |
| 事業区分 | 環境保全及び景観形成に関する事業 |
| 事業タイプ | ソフト・ハード |
| 総事業費 | 1,064,475円 (うち支援金:728,000円) |

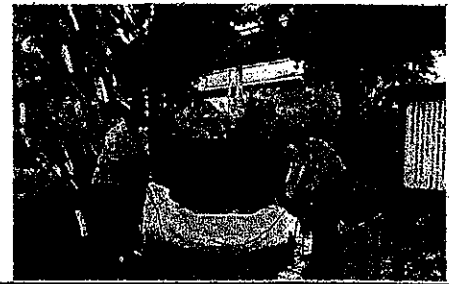
事業内容

自然環境豊かな白馬村には、貴重な動植物が自生している。村の中心地である駅周辺にも貴重な蝶類が飛来しているため、蝶の食草を植栽することにより、アサギマダラが飛来する白馬駅としての魅力度アップを図るために実施

村内の幼稚園・保育園児らが短冊や星形を作成し、公園の笹竹に飾り付けを行い、伝統行事を通じて地域との交流を体験した。

モニュメントとして公園の由来を記した石碑の設置

(活動写真)



【モニュメント除幕式】

【目標・ねらい】

- ①植栽範囲の拡大化
- ②公園保全への住民理解向上
- ③来場者へ接遇の向上
- ④景観意識の向上

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①公園内へのフジバカマ植栽個所が増大した。
- ②事業内容が啓発されることにより公園への住民理解が高まり、今後の維持管理活動の参加者増が期待できる。
- ③公園整備がおもてなしの心につながり、接遇向上が期待でき、その結果白馬村の魅力度アップに貢献する。
- ④駅前無電柱化工事の進行とともに中心市街地に対する景観意識が向上し、住民参加の機会が増大する。

※自己評価【A】

【理由】

公園の認知度が向上し、環境保全景観形成に対する住民意識が高まり、地域づくりへの住民参加が増えた。
児童、幼児が伝統行事に参加することにより、世代間交流が増えた。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

木流笠地蔵公園の良好な状態を保つための維持管理事業を、アルプスの会のみならず、地域住民参加のもと実施する。

周辺の景勝地との連携より「駅から散歩」を発信し、村の玄関口である駅周辺の活性化に取り組み、JR大糸線の利活用を模索しながら、存続活動に繋げていく。

※自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある